

# 田子の浦港の歴史

河口を舟で渡る人を改める見附ができたのは、鎌倉時代初めと考えられています。湊として古文書に現れるのは南北朝の動乱からで、今川・武田・北条氏が争う頃から「吉原」の名が用いられます。

戦国時代になると、軍事だけでなく商業利用も盛んになり、渡し船の水運業に併せ、富士山参詣の道者の宿も現れます。この頃の富士参詣の様子が描かれた「富士参詣曼荼羅」から、当時の「吉原湊」の様子をイメージすることができます。

## 富士参詣曼荼羅図（室町時代）

（重要文化財・富士山本宮浅間大社蔵）  
写真提供：富士市立博物館



富士川右の小さな川は潤井川と考えられており、二人の男の水垢離（裸みそぎ）の様子が描かれている



寺院の前の欄は「清見寺関」と考えられおり、危険な蘆葺峠や富士川を避け海路を選んだ参詣者が、舟を待つ様子が描かれている  
「蒲原船関」が「吉原湊」を結んでいたと考えられ、潤井川の裸の描写から後者が有力

戦国時代から江戸時代へ、歴史の中心が東国に移るのに従い、吉原宿は官道の渡船場として重要性を高めます。

江戸時代、古郡氏らによる富士川の治水工事ににより、現在の水流に移された後、潤井川、和田川、沼川の合流した河口が、新しい吉原湊として利用されます。

富士山南麓地域は、江戸時代から「駿河半紙」の特産地として名高く、明治以降洋紙技術の導入により、製紙中心の産業が発展します。戦後、食品化工・化学繊維・自動車・電機などの企業の進出と関連中小企業の設立により、新しい工業地域として脚光を浴びます。

## 明治の吉原湊



## 昭和33年 港築造前の様子



## 現在の田子の浦港



高度経済成長期に突入した昭和30年代、県は総合開発計画を策定し、駿河湾臨海工業地帯の物流拠点として、風光明媚な「吉原湊」の地に、昭和33年4月掘込式港湾の修築工事に着工します。

急深な駿河湾に面する厳しい海象に挑み工事を進め、昭和37年2月に待望の第一船が富士南岸壁に入港します。その後、着々と港湾整備が進み、昭和41年4月に開港法による「開港」指定を受け、国際貿易港として発展を続けます。

開発当時、1万トンの船舶の入港を想定していた田子の浦港ですが、安定成長期に入る昭和60年代には、3万トンを上回る船舶が入港するようになります。

船舶の大型化や施設の老朽化に対して港を再開発する港湾計画の改訂（変更）を平成元年3月に決め、「地域の産業を支える安全で快適な港」と「市民に親しまれる港」を目指した、田子の浦港の第二期となる港湾整備が始まります。

平成28年4月 開港50周年  
『未来に向け田子の浦港』

田子の浦港では、市民に開かれた「みなとまちづくり」を合言葉に、市民とのパートナーシップのもと「安全で、使いやすく、親しまれるみなとづくり」を進めています。

(H30年2月)

静岡県田子の浦港管理事務所  
〒417-0015 静岡県富士市鈴川町2-1  
TEL0545-33-0495 FAX0545-33-1009  
URL: <http://dbbooku.pref.shizuoka.jp/desaki3/tagonoura/index.htm>

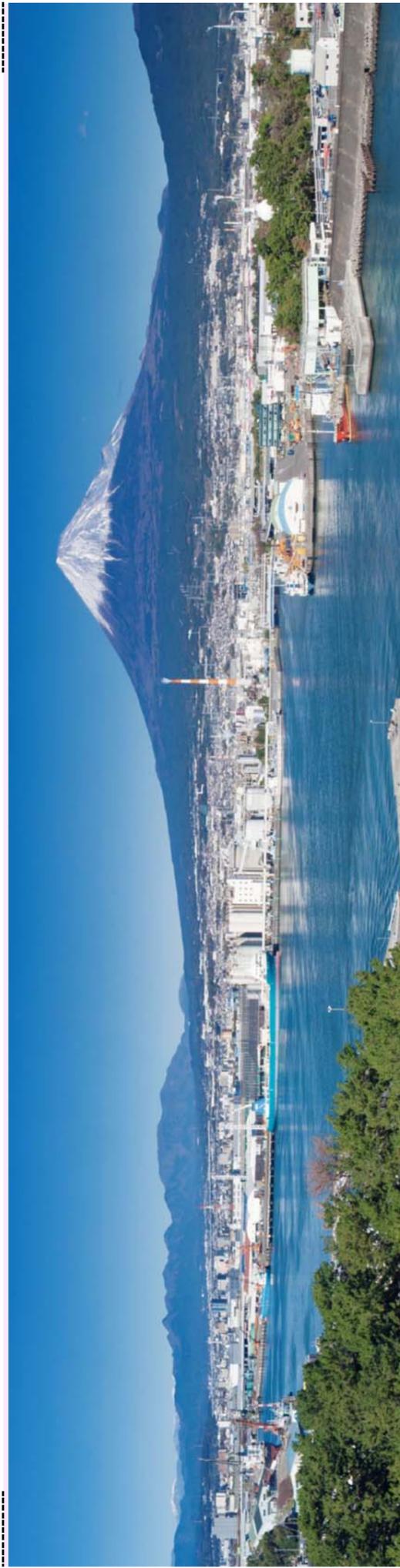
富士山の雄姿を一望できる  
ふじのくに  
Shizuoka Prefecture  
New Public Engineering for SHIZUOKA  
いっしょに、未来の地域づくり。  
静岡県交通基盤部

### 田子の浦港周辺案内図

① ティアラ号の錨  
② 漁協食堂  
③ 江川水門跡  
④ 潤井川河口  
⑤ 沼川石水門記念碑  
⑥ 富士山  
⑦ 見附跡  
⑧ 富士と港の見える公園  
⑨ 阿字神社  
⑩ 富士塚  
⑪ 砂山公園（整備中）

【公園へのアクセス】  
○ 東名 富士ICから約6.0km （自動車で約15分）  
○ 新幹線 新富士駅から約3.5km （自動車で約10分）  
○ JR 吉原駅から約3.5km （自動車で約10分）

シンボルトワーから眺望



# ふじのくに田子の浦 みなと公園

～海とのふれあい、交流と健康の湊公園～



# 『ふじのくに田子の浦みなと公園』 園内マップ

マップの中にあるこのマークは、富士山の撮影のベストスポットです。

## ①メインエントランス



- 開放的な空間で公園全体を見渡し、散策を楽しむ遊歩道の出発地点です。
- 屋根付きのベンチは花壇を囲み、雨の日も快適に過ごせます。

## ②多目的広場



- 家族でゆったりお弁当を広げたり、のんびり過ごせるベンチや東屋もあります。

## ③夕日のステージ



- 海岸線越しに太陽が沈む、時刻とともに変化する美しい景色を眺めながらイベントが開催できます。
- 利用案内：田子の浦港管理事務所

## ④「みなと」メモリアルゾーン



- 田子の浦港の築港に尽力した船山啓次郎氏と斎藤寿夫氏の銅像、耕作地を提供いただいた147名に感謝する顕彰碑が設置されています。
- 昭憲皇太后(明治天皇の后)と皇太子(大正天皇)が、築港前の「逆さ富士」鑑賞に行啓された記念碑も当地に移設されています。
- 設置：民間団体有志、所有：富士市管財課

## ⑤富士山ドラゴンタワー

- 富士山～駿河湾の360°の美しいパノラマ景色を楽しむことができます。
- 田子の浦港に入出港する大型貨物船の様子も見るができます。
- デザインは、地域住民の発案と静岡文化芸術大学の協働により仕上がりました。
- 【施設のご案内】
- ・最上部展望床の高さは、『富士山の標高』の1/100の37.76m
- ・『外周の八角形』デザインは、富士山頂の八つの峰から八角形の配置は、東西南北の方位がその場で判る工夫
- ・「富士ひのき」を用いた外周の『二重らせん階段』は、富士登山をイメージ
- ・展望床に昇る二つの階段は、伊豆の『姉妹富士伝説』の富士山と下田富士の方向



- シンボルタワーのご利用について
- 【利用時間】日の出～日の入まで
- 【利用制限】強風注意報・警報、雷注意報、竜巻注意情報が発令時

## ⑬駐車場



- 乗用車用139台、障害者用4台が収容できます。
- 場内の事故には注意してください。
- 駐車場のご利用について
- 【お休み】無し
- 【開放時間】8～17時まで

## ⑥展望の丘（海辺の展望広場）



- 丘からの眺めが素晴らしく、潮風を感じながら、駿河湾や港を一望出来ます

## ⑫西側エントランス



- 視界の良い日には、清水港や富士山世界文化遺産の構成資産の「三保松原」を眺めることができます。

## ⑪海浜植物園



- 協働して公園を管理運営しているポートサポータの「NPO法人 みなと・まち育て子浦」の皆さんがサトウキビなどを育てています。
- NPOが企画する様々な活動やイベントにはどなたも参加できます。公園の管理運営にご協力を！
- 問い合わせ：NPO法人 みなと・まち育て子浦

## ⑩子育て支援広場



- 親子が一緒になって木製遊具や木製チップの砂場などで、安心して遊ぶことができます。
- 広場西側の小高い丘からは、公園全体を見渡すことができます。

## ⑨歴史学習施設「ディアナ号」・冒険広場

- 「ディアナ号と富士」をテーマに、田子の浦の人々関わった、民族を超える「人間愛」から生まれたディアナ号の乗組員の救助活動を中心に、ディアナ号及び乗組員の軌跡を紹介しています。
- ディアナ号乗組員の救助をきっかけに日本とロシアの交流が始まります。学習施設の入口には、日露友好150周年の記念碑が設置されています。この記念碑はディアナ号にゆかりのある下田港、沼津市戸田漁港、ロシアのサンクトペテルブルクにも同じ碑があります。
- 学習施設の回りには、大きな砂場、築山、遊具などを配置した「冒険広場」です。お友達とおもいっきり楽しんで下さい！
- 【施設のご案内】
- ・当時のロシア軍艦、3本のマストの木造船の外観を1/3のスケールでイメージしたものです。
- ・甲板を展望施設、船内には、展示設備を備えています。
- ・船体は、船首を修理に向かった戸田湊に向けて設置しています。
- 日露友好150周年の記念碑 問い合わせ：富士市文化振興課



## ⑦始まりの鐘

- 海拔0mから山頂を目指す「富士山登山ルート3776」のスタート地点の一つです。
- 結婚、起業など、貴方の人生の様々な「はじまり」の時にも是非、鐘を鳴らして下さい。富士山は、あなたの「はじまり」をきっと祝福してくれるでしょう！
- 設置：富士青年会議所



## ⑧山部赤人 万葉歌碑

- 奈良時代の歌人山部赤人が詠んだ「富士山を望む歌」が、富士山に見たて配した富士市南松野産8本の「俵石」に、神宮文庫本万葉集の万葉仮名そのままに写し刻まれています。
- 雄大で美しく神秘的であった富士の姿の印象を東国に赴く道すがら仰ぎ見て詠んだ歌といわれています。石碑と雄大な富士山を背景に、是非とも記念撮影を！
- 問い合わせ：富士市文化振興課

